

日本循環器協会主催 心不全療養指導士応援企画

# 突撃!★ となりの心不全療養指導士

～全国の仲間の活動を紹介します～

第1回 河野裕治（理学療法士、藤田医科大学病院）



日本循環器理学療法学会 理事  
日本心臓リハビリテーション学会 評議員  
日本循環器予防学会 評議員

～PT編～

# 藤田医科大学病院



- 愛知県豊明市にある大学病院
- 病床数は**1376床**（心臓血管センター86床、CCU10床）と全国で1位
- 年間で心不全は250例、心筋梗塞200例以上の患者さんが搬送されます。



- 循環器内科専門医：20人以上
- 慢性心不全認定看護師：2人
- **心不全療養指導士：6人**
- 心リハ指導士：2人

# ある1日のスケジュール

7:30 出勤

**朝ラウンド**：挨拶・経過確認、新患割り振り

9:00 臨床（循環器病棟）

**実施内容**

離床プログラム  
運動療法、後輩指導



11:00 臨床（CCU病棟）

**実施内容**

離床プログラム



\*患者様には撮影の許可を  
いただいております。

12:20 昼休憩

弁当（おにぎり）

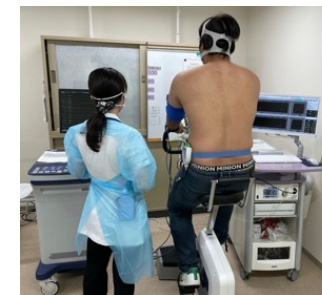
入院リハ：10-13人/日

13:00 臨床（CCU・循環器病棟）

15:00 CPX

**実施内容**

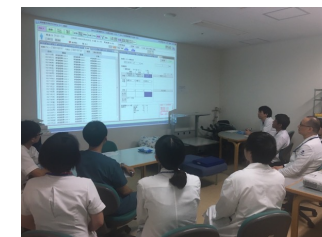
運動機能のチェック  
運動指導・運動処方



17:30 多職種カンファレンス

**実施内容**

週に1-2症例実施



本写真はコロナ流行前に撮影  
しております。

18:30 院内・院外の勉強会

・院内

症例検討会  
論文抄読会

・院外

心不全ネットワークの勉強会

今日の論文のオッズ比は？

Category	OR	95% CI
Overall	1.12	1.05 - 1.19
Age	1.02	0.98 - 1.06
Sex	1.01	0.97 - 1.05
Weight	1.01	0.97 - 1.05
Heart rate	1.01	0.97 - 1.05
Blood pressure	1.01	0.97 - 1.05
Diabetes	1.01	0.97 - 1.05
Smoking	1.01	0.97 - 1.05
Alcohol	1.01	0.97 - 1.05
Family history	1.01	0.97 - 1.05
Genetics	1.01	0.97 - 1.05

論文抄読会（2020年）の開催状況  
心不全ネットワークの勉強会  
FUJITA HEALTH UNIVERSITY HOSPITAL

# 必見！当院の工夫

循環器リハビリテーション離床プログラム

	Stage 1	Stage 2	Stage 3	Stage 4	Stage 5	Stage 6
歩行 負荷試験	端座位 立位 足踏み	10~20m	80m	80m×2回 or 160m	80m×3回 or 240m	6MWD Frail評価 SPPB
安静度 (活動許可範囲)	端座位 ポータブル	トイレ歩行	病棟内	病棟内	病棟内	(医師の許可で) 病院内
実施日	/	1/22	1/25	/	/	/

活動条件・ADL  
 ストックで自炊  
 ADL的に Stage 3まで

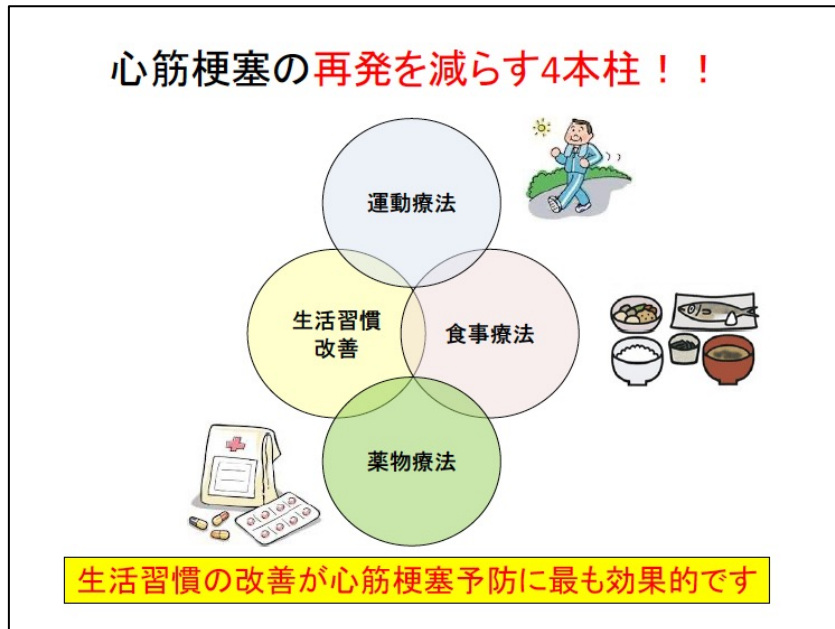
心機能リスク	
虚血	: A
心ポンプ	: A
不整脈	: A

- 患者さんのリハ進行度、安静度、リスク、ADL状況について、理学療法士のみでなく患者さんに関わる全職種（医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・MSW）が一目でわかるようにベッドサイドに掲示しています。
- 理学療法士が「急性期離床プログラム」を各患者のベッドサイドに掲示し、各職種で現在の情報を共有しています。

# 心不全療養指導士としての活動 ～多職種編～

## ① 患者教育動画の作成

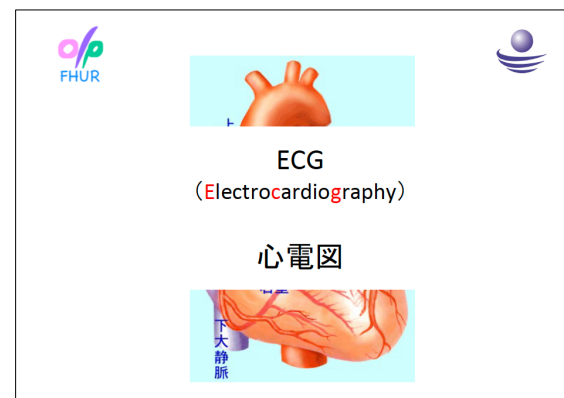
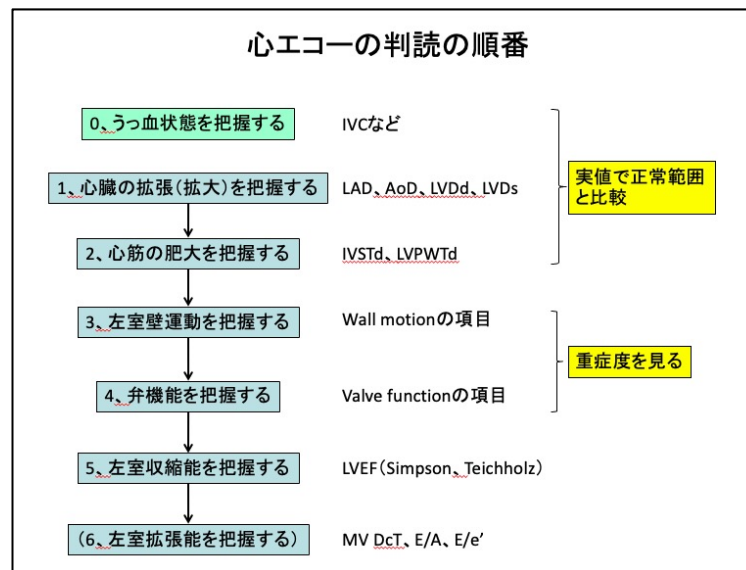
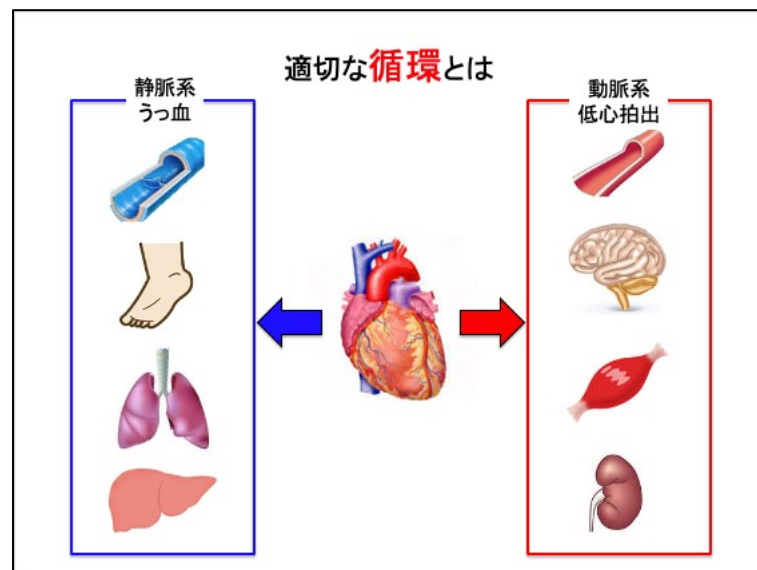
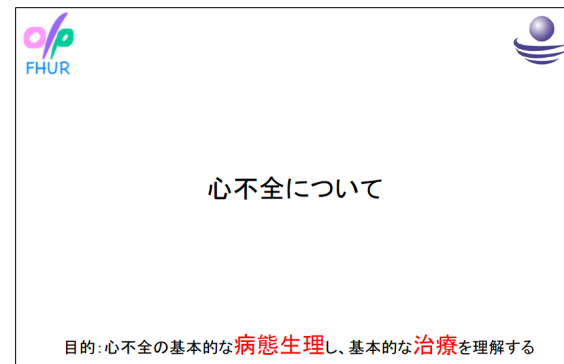
心筋梗塞患者を対象に、再発予防に向けた教育動画を作成した。QRコードで配ることで、退院後も繰り返し指導が受けられます。さらにコロナ禍で家族に会う機会が減った現状でもおすすめです！



# 心不全療養指導士としての活動 ～PT編～

## ② スタッフ教育動画の作成

心疾患に関する基本的な知識を動画にまとめています。自分の時間に応じて繰り返し同じ講義が視聴できることや、実際の指導では臨床指導に時間を多く割くことができるため、メリットも多いです。



# Take Home Messages

- 心不全療養指導士を取得することは、
  - 個人：スキルアップにつながる。
  - 部署：職種の立場を理解し、スタッフ教育にも役立つ。
  - 院内：他職種への理解が深まり、多職種連携の促進になる。